

オシドリは日本各地の湖や池で観察することのできる小型のカモの仲間です。カモの仲間は一般に、雄が鮮やかな羽色で雌は茶色や灰色など抱卵時に保護色となる羽色をしています。オシドリの雄の何色もツチワークに例えたりするのと似ている気がします。見ているだけで秋らしさが感じられます。

# 飼育員 日誌



長野・須坂市動物園

秋になるとオシドリたちも秋の味覚を楽しみます。クヌギ、ナラ、カシなどの実、いわゆる「ドングリ」です。ドングリは冬の繁殖シーズンの大切な蓄えとなります。落ちたドングリを長さ3、4センチほどの小さなく

## ドングリ食べて繁殖期に備え

ちばしでつまみ上げ「パクリッ！ゴクン！」と丸ごと飲み込みます。体に対して大きなものを飲み込む様子は、喉に詰まってしまわないかと心配してしまいます。水鳥なので水に落ちたものでも上手に拾って食べることが出来ます。飼育舎には残念ながらドングリの木がないため園内で拾えたときにはオシドリに届けます。池で何か探し物をしていたら秋の味覚探しかもしれません。

